

田中復興大臣の青森県訪問ぶら下がり会見録
(令和元年11月13日(水) 08:40～08:44 於) 八戸市)

1. 発言要旨

おはようございます。

初めに、今般の台風19号により、ここ青森県も大変大きな被害をお受けになられたわけでごさいますて、被災された方々に、まずお見舞いを申し上げる次第でごさいます。

本日、ここ八戸市を訪問させていただきました。復興大臣就任の挨拶をするとともに、この多賀多目的運動場を視察させていただいて、大平副市長さんから、復興の状況についてもお伺いしましたし、また、何かあったときに、ここに市民の皆さんが避難をされるという状況についても、いろいろと御説明をいただいたところでございます。

今後、被災地の実情だとか、御要望等を今承ったわけでごさいますけれども、しっかりと踏まえて、被災地に寄り添いながら、現場主義に立って復興に全力で取り組んでまいりたいと思います。

この後、引き続き、岩手県の洋野町、久慈市、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町を訪問する予定でごさいます。今日はスケジュールいっぱいでごさいますので、急いで各地をお伺いしてまいりたいと思っております。

要望については、新大橋整備事業についてのこと、また震災復興特別交付税についてのことがございましたので、私のほうもししっかりと受けとめて、今後対応してまいりたいと思っております。

2. 質疑応答

(問) 今のと重なりますけれども、特に今後の復興支援として力を入れられる点はあるのでしょうか。

(答) 復興は、地震・津波を受けた地域、そして御存じのように原発によって被災をした地域と、大きく分けて2つあるわけでごさいますけれども、今、約8年8カ月という状況にあるわけでごさいます。これから一つの節目、10年がやってくるわけでありまして、もう既に新聞報道等ごさいますように、年末には今後のことについて、ある程度明らかにしてまいりたいと思っておりますけれども、まだまだ相当復興がなった場所・地域、あるいは道半ばの地域があるわけでごさいますて、そういうことを加味しながら、しっかりとこれからも対応していきたい、このように思っております。

先ほど申し上げましたように、現場主義、そして被災地の皆様方にしっかりと寄り添っていく、これはもう総理も申しております

けれども、もうこれは我が政府の方針で、一番の基本をなすところでございますので、その思いを持って、復興大臣として当たってまいりたいと思います。ありがとうございました。

(以 上)